



工事発注手続きについて

～橋梁補修維持工事の発注手続きを行います～

大宮国道事務所が発注する「R5・R6浦和出張所管内橋梁補修維持工事」他3工事において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R5・R6浦和出張所管内橋梁補修維持工事」他3工事において、以下の不調・不落対策等を試行、採用します。

【不調・不落対策等】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
2. 競争参加資格の緩和
3. 難工事指定
4. 余裕期間制度（発注者指定方式）

※詳細は次項をご覧ください。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ さいたま市政記者クラブ

<問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局 大宮国道事務所

電話：048-669-1200（代表） メール：ktr-oomiya-koho01@mlit.go.jp

副所長（技） 木住野 誠（きずみの まこと）（内線：205）

管理第二課長 富吉 正幸（とみよし まさゆき）（内線：441）

《工事概要 1》

- (1) 工事名：R5・R6浦和出張所管内橋梁補修維持工事
- (2) 工事場所：浦和出張所管内
- (3) 工期：令和5年11月1日から令和7年3月31日まで（発注者指定方式）
（余裕期間：契約締結の翌日から令和5年10月31日まで）
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
- (5) 工事種別：橋梁補修工事
- (6) 工事内容：応急処理（※） 1式
横断歩道橋工 1式
排水施設清掃工 1式
（※）橋梁補修には小規模なメンテナンス作業が含まれます。
小規模なメンテナンス作業は作業日報に基づき積算します。

《工事概要 2》

- (1) 工事名：R5・R6大宮出張所管内橋梁補修維持工事
- (2) 工事場所：大宮出張所管内
- (3) 工期：令和5年11月1日から令和7年3月31日まで（発注者指定方式）
（余裕期間：契約締結の翌日から令和5年10月31日まで）
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
- (5) 工事種別：橋梁補修工事
- (6) 工事内容：応急処理（※） 1式
横断歩道橋工 1式
排水施設清掃工 1式
（※）橋梁補修には小規模なメンテナンス作業が含まれます。
小規模なメンテナンス作業は作業日報に基づき積算します。

《工事概要 3》

- (1) 工事名：R5・R6熊谷国道出張所管内橋梁補修維持工事
- (2) 工事場所：熊谷国道出張所管内
- (3) 工期：令和5年11月1日から令和7年3月31日まで（発注者指定方式）
（余裕期間：契約締結の翌日から令和5年10月31日まで）
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
- (5) 工事種別：橋梁補修工事
- (6) 工事内容：応急処理（※） 1式
横断歩道橋工 1式
排水施設清掃工 1式
（※）橋梁補修には小規模なメンテナンス作業が含まれます。
小規模なメンテナンス作業は作業日報に基づき積算します。

《工事概要 4》

- (1) 工事名：R5・R6春日部国道出張所管内橋梁補修維持工事
- (2) 工事場所：春日部国道出張所管内
- (3) 工期：令和5年11月1日から令和7年3月31日まで（発注者指定方式）
（余裕期間：契約締結の翌日から令和5年10月31日まで）
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型
- (5) 工事種別：橋梁補修工事
- (6) 工事内容：応急処理（※） 1式
横断歩道橋工 1式
排水施設清掃工 1式
（※）橋梁補修には小規模なメンテナンス作業が含まれます。
小規模なメンテナンス作業は作業日報に基づき積算します。

《不調・不落対策等》

1. 公募型指名競争入札（総合評価落札方式 企業実績評価型）

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。

特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。

（参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。）

2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、同種工事の施工実績、本発注工事に対応する工事種別の手持ち工事量及び賃上げの実施を加算点としています。

3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

2. 競争参加資格の緩和

1) 地域要件の拡大

工事場所等の地理的条件を勘案し、競争参加資格の地域要件を、「埼玉県内」における建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業から「関東地方整備局管内」における建設業法に基づく本店、支店又は営業所を有する企業に拡大します。

2) 企業に求める施工実績の緩和

企業に求める施工実績は、「橋梁または横断歩道橋における、補修工事、補強工事」に限定せず、以下の（ア）のいずれかとして緩和をします。

（ア）橋梁または横断歩道橋における、補修工事、補強工事、新設工事
（いずれも塗装工事のみは除く）

3. 難工事指定

本工事は、交通量の極めて多い現道上で交通規制しながらの夜間作業であり、また、限られた狭隘な作業ヤード内での施工であることから、厳しい安全管理と施工管理が重要であるため、「難工事指定」を採用します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間で評価対象となります。

4. 余裕期間制度（発注者指定方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者が指定した工事の始期までが余裕期間となります。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《スケジュール》

○入札公告、入札説明書交付	：令和 5年 7月27日（木）
○技術資料等の提出期限	：令和 5年 8月 7日（月）
○入札書・工事費内訳書の提出期限	：令和 5年 9月15日（金）
○開札日	：令和 5年 9月21日（木）

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式・企業実績評価型)の試行について

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **総合評価落札方式・企業実績評価型**
→企業における防災に係る取組姿勢と施工実績等を評価

